

# 発明の名称:アミド化合物の製造方法

利用・用途・応用分野

無料開放特許

オキシム化合物のベックマン転位反応によるアミド化合物の製造

目的・課題

シクロヘキサノンオキシムのベックマン転位反応は、進行し難く、解決方法が求められている。

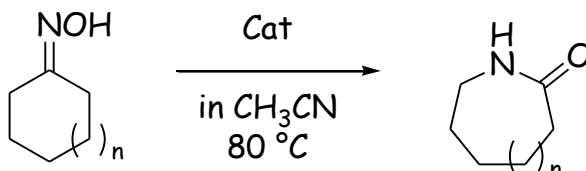


解決ポイント

## 【アミド化合物の製造方法】

オキシム化合物をベックマン転位反応させることによりアミド化合物を製造する方法にて、イッテルビウムトリフラート又はサマリウムトリフラートであるトリフラート化合物及びトリフルオロメタンスルホンイミドの存在下で、又はホウフッ化コバルト六水和物の存在下で、ベックマン転位反応させることを特徴とする製造方法。イッテルビウムトリフラート又はサマリウムトリフラートであるトリフラート化合物及びトリフルオロメタンスルホンイミドの存在下で、ベックマン転位反応させることを特徴とする製造方法。ホウフッ化コバルト六水和物の存在下でベックマン転位反応させることを特徴とする製造方法。

研究概要・アピールポイント



$\text{M}(\text{OTf})_3 + \text{Tf}_2\text{NH}$

or

$\text{Co}(\text{BF}_4)_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$

M = Yb, Sm

$\text{Co}(\text{BF}_4)_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$

- ✓ 触媒量のルイス酸等を用いて、オキシム類のベックマン転位反応が可能です。
- ✓ 強酸を多量に用いる必要はありません。
- ✓ 従来法では困難なシクロヘキサノンオキシムの転位反応にも有効です。
- ✓ 反応後の処理方法を工夫することで、公報記載の実施例よりも高収率で生成物を得ることが可能です。

- ✓ 他の触媒と組み合わせて使用すると、より効果的です(関連する発明が複数あります)。
- ✓ 関連する発明の中で、構成要素が最も少ない、基本となる発明です。

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp